

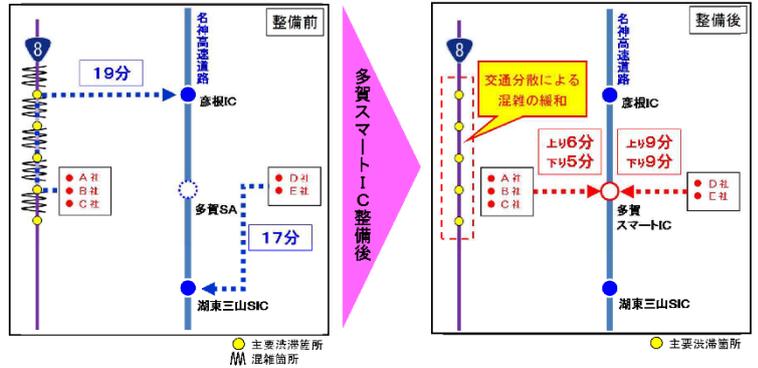
# 主な整備効果

## ①産業振興（高速ICアクセス圏拡大、周辺道路の混雑緩和）

- ・ 高速ICまで10分でアクセス可能な圏域の拡大により、物流の円滑化による生産性の向上が期待される。
- ・ 国道8号を利用する物流交通が分散されることにより、生活交通と物流交通が分離され、周辺道路の混雑緩和が期待される。



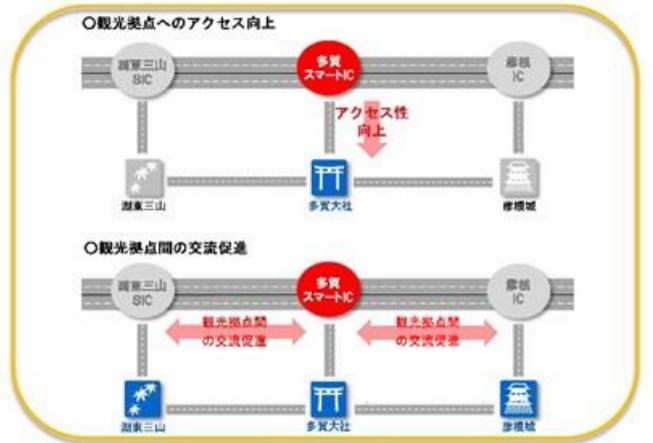
多賀スマートIC整備による10分アクセス圏の拡がり  
 出典：平成28年9月～11月 平日 昼間12時間民間プローブデータ  
 ※対象事業所は概ね10ha以上の敷地面積または従業員数が約1,000人以上とする。



出典：平成28年9月～11月 平日 昼間12時間民間プローブデータ

## ②観光振興（アクセス性向上、観光拠点間の交流促進）

- ・ 周辺地域の新たな玄関口となり、高速ICから多賀大社等へのアクセス向上による観光客の増加が期待される。
- ・ 彦根城や湖東三山など周辺観光地と多賀大社との周遊型観光ルートが形成され、観光拠点間の交流促進や連携が強化されるなど周辺地域の活性化が期待される。



## ③救急医療活動の強化

### （第3次救急医療施設へのアクセス性向上）

- ・ 多賀町から第三次医療施設へのアクセス時間が現況の32分から25分となり、7分短縮される。
- ・ 第三次医療施設の30分搬送圏域が、多賀町中心まで拡大し、多賀町人口の6割以上が30分圏域に含まれるようになり、地域医療への貢献が期待される。



多賀スマートIC整備による長浜赤十字病院からの30分圏の拡がり

出典：平成28年9～11月 平日 昼間12時間民間プローブデータ